

関東・東海地域における 9 月の地震活動

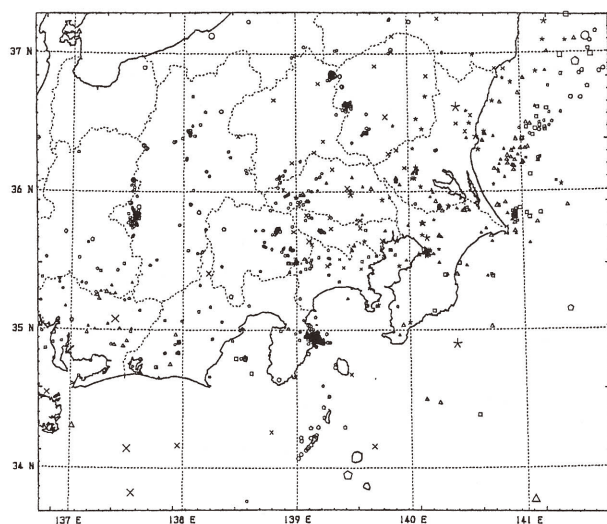
1995年 9 月の関東・東海地域における地震活動の概況は、9 月29日に活発化した伊豆半島東方沖群発地震の為解析処理が遅れ、9 月29日23時41分までの資料をもとに報告する。

マグニチュード (M) 4 以上の地震は11個観測され、その内 3 個は深発地震だった。

| 月日 | 時分 | 深さ (km) | M | 震央地名 |
|------|-------|---------|-----|---------|
| 9/ 1 | 15:23 | 1 | 4.5 | 群馬県北部 |
| 9/ 3 | 17:21 | 5 | 4.4 | 福島県東方沖 |
| 9/11 | 00:23 | 298 | 4.9 | 愛知県北部 |
| 9/12 | 08:17 | 61 | 4.1 | 茨城県北部 |
| 9/13 | 17:53 | 385 | 4.1 | 遠州灘 |
| 9/17 | 04:04 | 50 | 4.0 | 八丈島東方 |
| 9/17 | 20:50 | 340 | 4.6 | 遠州灘 |
| 9/19 | 19:59 | 12 | 4.3 | 三宅島近海 |
| 9/20 | 20:11 | 16 | 4.7 | 福島県東方沖 |
| 9/26 | 20:45 | 73 | 4.9 | 千葉県中部 |
| 9/28 | 09:53 | 63 | 4.2 | 房総半島南東沖 |

伊豆半島東方沖では、9 月11日から群発地震が発生し、9 月29日08時29分頃から活発化し、9 月29日23時41分までに934個解析した結果、深さは数kmと極浅く、最大地震は9 月29日19時46分M3.1であった。群馬県北部でやや活発な地震活動が発生し、9 月1日～25日まで続き小・微小地震26個が観測された。最大地震は9 月1日15時23分M4.5であった。千葉県中部では9 月26日から28日にかけて、最大地震のM4.9を含め小・微小地震12個が観測された。

長野県西部の地震活動は活発であり、今期間は78個観測された。最大地震は9 月11日09時33分M3.1深さ 5 kmであった。駿河湾で震源決定された地震は 4 個で最大地震は9 月14日10時53分、M3.0、深さ18kmであった。



人事異動

10月 1 日付

| | | |
|-------|----|----------------|
| 小林 弘 | 転任 | 管理部施設課専門職 |
| | 併任 | 管理部施設課管理係長 |
| 鈴木 忠篤 | 併解 | 管理部施設課管理係長 |
| 渡部 勲 | 併任 | 地震予知研究センター |
| | 在勤 | 平塚実験場 |
| 中井 専人 | 昇任 | 先端解析技術研究部主任研究官 |

国際交流

9.30～10.8 幾志 新吉 (先端解析技術研究部長) 第46回国際宇宙航行連盟年次会議及び自然災害軽減委員会出席のため。(ノルウェー)

10.1～10.11 佐藤 篤司 (新庄雪氷防災研究支所主任研究官)「雪氷研究の将来について」のワークショップ参加および研究打ち合わせのため。(米国)

10.7～10.14 真木 雅之 (気圏・水圏地球科学技術研究部主任研究官) 第27回レーダ気象学会において「降雪雲からの強風の形成過程について」の論文発表を行うため。(米国)

10.8～10.20 阿部 修 (新庄雪氷防災研究支所主任研究官) 山岳雪崩の動的内部構造の解明に関する研究における雪崩観測装置取付及び研究打ち合わせのため。(中国)

10.16～10.21 諸星 敏一 (先端解析技術研究部主任研究官) 第5回サイスミックマイクロゾーニング国際会議参加及び発表のため。(フランス)

主な来訪者

| | |
|--------|--|
| 9 月21日 | 衆議院科学技術委員会調査室調査員 (長岡) 府中市消防団 |
| 9 月25日 | 気象庁各官署職員 |
| 9 月26日 | 日本原子力研究所大洗研究所 |
| 9 月29日 | 欧州科学技術会議議長 他 三井建設(株) 東京建築支店三栄会設備工事部会 J I C A 在外事務所本邦研修参加者 |
| 10月11日 | 茨城県高等学校教育研究会地理部会員 |
| 10月12日 | 立川地区災害防止協会・危険物安全会・防火管理研究会 |
| 10月18日 | 京都府議会議員 |
| 10月19日 | 外務省招聘客 |

編集兼 防災科学技術研究所

発行 〒305 茨城県つくば市天王台 3-1

TEL (0298) 51-1611 (代)

FAX (0298) 51-1622

(再生紙使用)